

地域トピックス 2

12月18日(日)

チャリティバザーが盛況でした！

当会有志と地域の皆様によるバザーが開催され、10時から12時という短い時間でしたが、多くの方にお越し頂きました。売上金全額を調布社協に寄付致しました。次回も予定しております、ご期待下さい。



朝一番から盛況でした



頂き物の食器などお買い得がたくさん

「上ノ原ふれあいの家」の現況

上ノ原ふれあいの家は平成27年4月開設されてから既に1年10ヶ月経過し、この間利用者数も増え、施設についても好評を得ています。

他方利用者の増加はメンテナンス、とくに施設内外の清掃の負担を大きくしています。これまで運営委員数名の献身的なご尽力でなんとか維持してきましたが、これには限界もあり、館内の一部清掃を外部委託することも検討中です。

なお夜間の利用申し込みが少なく空き室が多くなっています。夜間の利用が増えることを期待しています。

連絡先 中山清輝
(481-1013)



毎月第一月曜日 18:00 からの受付です

北の杜講座(市民協働企画)開催お知らせ 「癒しのグリーンインテリア“苔玉”作り」

世話が手軽で小さなスペースで楽しめる苔玉。土作りから始まり、数種類の観葉植物からお好きなものを1本選んで植えるオリジナルの苔玉を作ります。

(苔玉直径9cm、全体高さは15~20cm程度)



日時 3月25日(土) 午後1時~3時
場所・申込 北部公民館 申込み順 25人
(申込み受付 3月7日(火) 午前10時から)
費用 1,000円(3月18日までに持参)
持参 薄手ビニール袋、エプロン、持ち帰り袋

「ボランティア交流会」が開かれました

1月28日、上ノ原ふれあいの家にて開催、多くの皆様に参加頂きました。当催しは、パトロール等、日頃から地域活動に参加している方々の親睦を深めるために開かれています。

市役所、警察署、学校関係などの皆様にも参加頂きました。普段互いに話す機会の少ないこともあり、飲み物片手に歓談し合う様子があちこちで見られました。

当日は、委員による生演奏、お抹茶、お汁粉等もあり、皆様に楽しんで頂きました。



パトロールの方々の紹介



歓談の合間に生演奏を鑑賞



上ノ原まちづくりの会 (地区協議会)

2017(平成29)年2月 第26号

会長 吉見 政子

…公立・私立を含む学校と地域の連携(連絡会)…

「三校及び上ノ原まちづくりの会による連絡会」(以下、三校会という)は、「子ども達を事故、犯罪から守る」という目的のため、平成19年に発足しました。

三校会は、上ノ原小学校、神代中学校、晃華学園小学校・中学高等学校の校長又は副校長、教頭及びPTA会長、副会長、父母会生活安全部役員、上ノ原まちづくりの会会長と、各部代表及び担当者で構成されており、参加人数は約20名、奇数月に北部公民館やふれあいの家で開催しています。

三校はわずか半径250m以内の非常に狭い地域にほぼ境界を接する形で密集し、そこに毎日3200人以上の児童生徒が登下校しており、市内では他にこのような地区はなく非常に特殊な事情を抱えているのが上ノ原地区です。

三校会では、毎日登下校する子ども達の安全を守るため、登下校時の子ども達の様子を中心に各校が抱える課題を報告、その対策を全員で話し合い、問題によっては行政等に対応をお願いすることもあります。

話し合われた内容は、各校でフィードバックされ、子ども達や保護者に注意喚起等を行っています。また、必要に応じて調布警察署宮ノ上駐在所の警察官に地域の犯罪傾向などのお話を頂くこともあります。

三校会の発足は、三校どこの子どもでも地域が守るという意識を生み、通学マナーの改善、事故の減少、不審者の出沒については殆ど皆無になるなど一定の成果をあげることができました。

小中学校と地域が連携を取り、子どもの安全のために活動をする取り組みは上ノ原地区独自のものであり、市内他地区ではあまり例がないでしょう。また、私立学校が全面的に協力をし、一緒に活動して下さるという例も、全国的に非常にまれなケースと思われます。三校会がうまく機能しているのは上ノ原小学校、神代中学校の協力も勿論のことですが、晃華学園の協力がなければここまで到らなかったと申し上げても過言ではありません。

三校会では、今後も更なる子ども達の安全のために活動を行って参ります。



三校会での情報交換



宮ノ上駐在所 岡本さんの話を聞く



上ノ原小学校



晃華学園



神代中学校

地域トピックス 1

まちをきれいに（美化大作戦）・・天気にも恵まれ無事終了



指定集合場所での参加手続き



お父さんと一緒に楽しい参加



集まったゴミの分別作業も皆さんと



調布杜協チヨビットさんも参加

9月24日に行われた美化大作戦は、早朝まで霧雨、午後は雨の天気でしたが、開催中は、雨も上がり、その内青空が出るなど天気にも恵まれ、248名と多くの方の参加がありました。思ったよりゴミの量が少なかったのは、地域美化に対する皆様方の努力の成果と思われます。

なお地域3ヶ所の児童遊園（きつね山・けやき・宮の前）の花の植え替えが12月に終了。近くをお通りの際は、どうぞお花を愛でて頂き、水やりのご協力をお願い致します。

地域文化祭（北部公民館）に参加しました



サシェ作り、うまく出来たかな



「おたのしみコーナー」でのディスゲッターナインとおいも探しゲーム



今回も10月29日～11月6日迄の北部地域文化祭に地域の団体として、地域情報や当会の活動を展示しながら、調布産のラベンダーが入ったサシェを作る等で参加しました。様々な布とヒモの組み合わせで出来上がるサシェ、参加された方の笑顔、地域の会話、楽しい時間が過ごせました。

お楽しみコーナーも子ども会、健全育成推進委員会と一緒にやり、子どもたちは楽しんでいました。

平成28年度東京都功労者として表彰されました

10月1日、当会の安全・安心まちづくりの取り組みが評価され、東京都より、地域活動功労者として表彰されました。吉見会長が、東京都第1本庁舎大会議場での受賞伝達式に出席しました。

これも旗振りや、パトロール等地域のボランティアの皆様をはじめ、活動を支援して下さっている方々のおかげと心より感謝致します。



家族でサバイバル！（防災訓練2016）

今年の防災訓練は11月27日、上ノ原小学校で行われ、一般参加136人と、スタッフ合わせ221人が参加しました。今回は「家族でサバイバル！」を合言葉に、それぞれの家で防災対策がどうなっているか、をチェックする種目が設けられました。「これ、うちではやってないね」、「これならあるよ」などと親子で確認しながらチェックを受けていました。

AED訓練や、水消火器など定番種目のほか、珍しい種目として「投てき（投げる）消火弾」が登場し、薬剤入りの容器の代わりに水を入れたゴム玉*を火元に投げつける模擬訓練も行なわれ、消防署員にも注目されました。



火の勢いにひるむが負けられません！



投てき消火弾・ママ大丈夫かな？



我が家は大丈夫か？チェック



3階からの斜降・垂直式救助袋のデモ

*本物は、ソフトボール大のプラスチック容器に消火剤が入ったもの

北の杜講座Ⅱ（北部公民館との共催）

「知りたい。認知症って何だろう？」実施報告 （9月17日、10月1日、15日 全3回）

（北部公民館 北の杜通信より）



◀講師は、西田伸一さん（医師、写真左）、大木智恵子さん（西東京市緑町地域包括支援センター職員、写真右）、関塚元太さん（調布認知症ケアあう輪）の3人を迎え実施しました。

講座では認知症の方を見かけたときにどうしたらよいか、ケアのしかたなどを学びました。また、道に迷われた認知症の方を地域の方とともに捜索する「徘徊模擬訓練」を実施している西東京市の事例を通して、地域で安心して暮らせるまちづくりとは何かを参加者の皆さんで話し合いました。自分でまずできることとしては、あいさつを日頃から率先してすること、また人が集える場所作りが大切で、孤立せずいつでも人と繋がることができるまちづくりにしたいと、多くの参加者から声があがりました。



▲2回目の講義では、小グループに分かれ、参加者が実際に経験したことを話しあい、それを寸劇にして発表しました。状況に応じてどんな声かけをしたらよいか、講師の関塚さんに解説していただきました。



安心・安全パトロール協力者募集中

「上ノ原まちづくりの会」のパトロール活動を地域の皆さんと
いっしょにしませんか。ご連絡お待ちしております。

連絡先 長原碩之（携帯 090-6547-9237）

